

新しい地方経済・生活環境創生交付金事業実績

タイプ ソフト事業

事業名 複業人材を活用した DX 推進による市内産業の魅力向上プロジェクト

担当課 産業政策課

<事業の概要>

行政をはじめ、金融機関・商工団体により構成された相談窓口を設置し、企業の DX 化のための支援体制を強化し、経常的に企業と複業人材をつなげるマッチングが可能な体制づくりを図る。また本事業を通じて DX 化を図る企業の取組等を「複業を通じた当市でのビジネスチャンス」の発信の契機と捉えプロモーションを図ることで、感度の高い市外企業などを市内で DX に取り組む企業の視察ツアーや当市のワーキングやサテライトオフィスの整備環境等の視察を通じて誘引し、効率的な企業誘致へとつなげる。

域外からの人材・企業誘引へと注力するとともに、誘致企業と市内デジタル人材のマッチングによる人材流出の防止や、市内企業を対象とした社内のデジタル人材育成講座を開催することで、域内での人材確保・育成を図る。

<計画期間> 令和 5 年度から令和 7 年度（3 年間）

<令和 5 年度の事業実績>

事業費（交付額）	1,344,000 円（672,000 円）
複業人材マッチング支援対象企業向けワークショップの開催	

<令和 6 年度の事業実績>

事業費（交付額）	4,489,300 円（2,244,650 円）
複業人材マッチング支援対象企業向けワークショップおよび IT 企業向け市内体験型視察ツアーの開催	

<令和 7 年度の事業実績>

事業費（交付額）	4,496,800 円（2,248,400 円）
複業人材マッチング支援対象企業向けワークショップおよび IT 企業向け市内体験型視察ツアーの開催	

<数値目標及び実績>

	事業開始前		R5	R6	R7	KPI 増加分の累計
本事業を通じて DX に取り組んだ市内企業数	0	目標	5 社	10 社	15 社	30
		実績	3 社	10 社	15 社	28
沼津市内体験型視察ツアーへの参加社数	0	目標	0 社	15 社	30 社	45
		実績	0 社	3 社	5 社	8
本事業を通じて当市で拠点を開設した企業	0	目標	2 社	3 社	4 社	9
		実績	2 社	0 社	1 社	3
沼津市デジタル人	0	目標	0 社	15 社	30 社	45

材育成プログラム への参加		実績	0 社	58 社	2 社	60
------------------	--	----	-----	------	-----	----

<事業全体の評価>

令和6年度より実施した沼津市体験型視察ツアーについて、参加社数の達成ができなかったものの、参加した企業に応じて視察先を選定したことにより、沼津市での具体的なイメージを持つことができたとの声があった。そのため、市内における拠点開設の促進に寄与する事業であったと考えられる。また、その他 KPI については、概ね達成している。

<事業全体の評価>

タイプ ソフト事業

事業名 デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーキング事業

担当課 まちづくり政策課

<事業の概要>

市内企業にオープンイノベーションを促す企画を実施し、地域課題をビジネスにより解決しようとする新しい事業展開等を導くことで、まちづくりへの参画を促す。市民の方には、まちへの関わりを創出し、各人のまちづくり活動への参画を図る。また、これら企業や市民の活動をまちづくりデジタルプラットフォームの導入によって可視化し、相互につなぐことで、ネットワーキングする。

<計画期間> 令和6年度から令和8年度（3年間）

<令和6年度の事業実績>

事業費（交付額）12,591,200円（6,295,600円）
企業版リノベーションスクールの実施、沼津市リノベーションまちづくり実行協議会の運営、まちづくりデジタルプラットフォームの導入・運営

<令和7年度の事業実績>

事業費（交付額）15,528,361円（7,764,180円）
企業版リノベーションスクールの実施、沼津市リノベーションまちづくり実行協議会の運営、まちづくりデジタルプラットフォームの運営・参画誘導業務の実施

<今後の計画>

令和8年度	新たなまちづくりの担い手として企業に対する働きかけを進める中で、これら企業と既存のまちづくりプレイヤーとの連携した動きが生まれるよう引き続き取組を進める。また、デジタルプラットフォームにより、市内のまちづくりの動きや担い手を可視化する。
-------	--

<数値目標及び実績>

	事業開始前		R6	R7	R8	KPI 増加分の累計
地域の人口	186,676	目標	-1,600	-1,300	-1,000	
		実績	-2,113	-1,730		
市内企業による新たな事業プロジェクト創出数	0	目標	5	10	10	
		実績	7	4		
市民が企画するまちづくりプロジェクト創出数	0	目標	5	10	15	
		実績	7	5		
まちづくりデジタルプラットフォームの登録者数	0	目標	100	200	300	
		実績	101	429		

＜令和6年度の実績評価＞

全ての数値について計画目標数を達成したことは、本事業で展開した各種施策や構築した人的ネットワークが、後に続く事業等に結びついたものと考えられる。次年度にもオープンイノベーションを促す企画の実施等を予定しており、引き続き目標達成に向けて取り組んでいく。

＜令和7年度の実績評価＞

一部の計画目標において達成に至らないものがあったものの、まちづくりデジタルプラットフォームの登録者数は目標値を大幅に上回り、多くの市民が主体的にまちづくりへ参画する契機を創出することができた。引き続き、新しい事業展開を導くことで、目標達成に向けて取り組んでいく。

タイプ ソフト事業

事業名 沼津まちなか自動運転実証運行事業

担当課 まちづくり政策課

<事業の概要>

自動運転技術を活用し、沼津駅から沼津港間での自動運転実証運行を行うことで、市民の日常生活を支えるとともに、観光資源を活用しながら中心市街地への回遊性を高め、経済効果の波及に繋げることができる持続可能な交通システムの構築を目指す。

<計画期間> 令和7年度（1年間）

<令和7年度の事業実績>

事業費（交付額）	59,439,600 円（29,719,800 円）
自動運転車両（リース）の運行、路車協調システム（信号連携器）、バス運行事業者による遠隔監視 自動運転車両の PR、アンケート調査の実施	

<数値目標及び実績>

	事業開始前		R7	R8	R9	KPI 増加分 の累計
観光交流客数	3,300,000	目標	2,000	5,900		7,900
		実績	集計中	⇒7 月末頃実績がでる見込み		
公共交通利用者 数	41,800	目標	1,800	2,300		4,100
		実績	集計中	⇒9 月～10 月頃実績がでる見込み		
まちなかへの来 訪者数	58,941	目標	4,959	5,100		10,059
		実績	▲3,963			

<事業全体の評価>

⇒実績がわかった後、事業全体の評価実施。

タイプ デジタル実装型 (TYPE1)
事業名 斎場予約システム導入業務
担当課 市民課

<事業の概要>

斎場予約は、葬儀日程決定の根本となるために速やかな調整が求められている。現状の予約台帳と電話による予約作業に対し、デジタルを活用した24時間365日空き状況の確認や予約が速やかに行えるシステムを導入し、住民(遺族)の利便性を向上させる。

<計画期間> 令和7年度(1年間)

<令和7年度の事業実績>

事業費(交付額)	3,121,855円
斎場予約システム及び総合行政ネットワーク用回線新規構築、斎場予約システム保守	

<数値目標及び実績>

	事業開始前		R7	R8	R9	KPI 増加分の累計
斎場予約システム利用件数	0	目標	3270	3290	3310	
		実績	287			
斎場予約システム利用者満足度	0	目標	2.8	3.5	4.2	
		実績	3			
	0	目標				
		実績				

<事業全体の評価>

従来の電話での火葬予約から、システムを利用した火葬予約に変更となり、利用者の利便性が向上した。斎場予約システムの利用件数は、3月に導入を開始したため、数値目標の1割を切る287件となったが、令和8年度以降ほとんどの予約をシステムで受けるものとし、利用件数の増加が見込まれる。

タイプ デジタル実装型 (TYPE1)

事業名 行政 ICT 利活用事業 (窓口サービス向上)

担当課 デジタル戦略課

<事業の概要>

本市では、主に福祉系窓口や教育相談の場において、高齢の方、会話が聞こえにくい方、海外から来られている方等の対応について、各種翻訳・通訳サービス等の利用や筆談等交えて行っているが、必然的にセンシティブな内容を複数人に聞かれてしまう、相談内容を事細かに筆記しなければならない等の理由から、住民 (相談者) に負担が生じている。本サービスを導入することで、誰にでもやさしい窓口サービスを目指すものである。

<計画期間> 令和7年度 (1年間)

<令和7年度の事業実績>

事業費 (交付額)	1,694,000 円 (770,000 円)
窓口字幕表示システムの導入・運用	

<数値目標及び実績>

	事業開始前		R7	R8	R9	KPI 増加分の累計
字幕表示システムを設置している窓口において、実際ターゲットとなる相談者がシステムを利用した件数。	0	目標	660	1320	1980	3960
		実績	239			
システムを利用した人の5段階評価満足度の平均値。	0	目標	2.5	3	4	9.5
		実績	2.5			
	0	目標				
		実績				

<事業全体の評価>

導入1年目としては、満足度についての目標を達成しているものの、利用者数については想定を下回っていることから、利用機会を増やすためにサービス利用対象者が訪れる可能性のある別の窓口の一部機器の移設を行うなどして改善を図った。また、窓口以外での活用機会について、各担当課に相談を行い、2026年以降に実施するための調整を行った。

引き続き、各窓口や外部で行うイベント等に訪れる方の傾向を把握し、より効果的な活用方法を検討したうえで運用していく。

タイプ デジタル実装型 (TYPE1)

事業名 交通 DX アプリを活用した域内利便性向上事業

担当課 まちづくり政策課

<事業の概要>

沼津市内の交通、観光情報などを、1つのアプリケーションで市民や観光客にもわかりやすく提供できる公共交通サービスを構築し、沼津への来訪および公共交通利用促進に努める。アプリ内でアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた事業の改善・検討会の実施により、掲載情報の再検討・拡充を図り、公共交通及びアプリの利便性を向上させる。

<計画期間> 令和7年度 (1年間)

<令和7年度の事業実績>

事業費 (交付額)	1,492,700 円 (746,000 円)
交通 DX アプリ機能拡充業務	

<数値目標及び実績>

アウトプット KPI	事業開始前 (基準値)		R7	R8	R9	KPI 増加分 の累計
①バス・鉄道乗換案内アプリ の沼津市モード適用累計数 (単位:人)	27,000	目標	40,230	67,230	94,230	-
		実績	49,524			-
②沼津市モードで観光・移動 情報をアクセスしたユーザー 数 (単位:件)	-	目標	120,690	201,690	282,690	-
		実績	8,739			-
アウトカム KPI						
①バス・鉄道乗換案内アプリの 沼津モード利用満足度 (単位: ポイント)	-	目標	3.3	4.1	4.2	-
		実績	3.8			-
②アプリ連携先観光施設・飲食 店の入れ込み客数増加率 (単 位:%)	-	目標	2	5	8	-
		実績	3.7			-

<事業全体の評価>

アプリ「乗換案内」の「沼津市モード」の適用累計数は49,524人、ユーザー満足度は5点満点中3.8点、観光施設・飲食店への入店客数増加率は3.7%で目標を達成している。

一方で、観光・移動情報へのアクセス件数は目標のわずか7%にとどまり、PR不足が課題となっている。改善点として、多くの市民の目にとまるよう定期的に市のSNSを利用して情報発信し、市民への浸透を図る。また、秋頃に市で開催するバスの乗り方教室や公共交通に関する講演会においてもチラシを配架することで、小学生の保護者や高齢者等、幅広い層に周知することで認知度をあげ、目標を達成できるように取り組む。

タイプ デジタル実装型 (TYPE1)

事業名 市公式LINEアカウントの機能拡充事業

担当課 めまづプロモーション課

<事業の概要>

平成30年11月に市公式LINEアカウントを開設したが、基本機能のみを用いてメッセージを一斉配信してきたため、友だち登録者数が伸び悩むほか、不要な情報を疎む登録者には受信ブロックされる傾向にあった。自治体広報に適した拡張機能を導入し、情報を分類してわかりやすく提供するリッチメニュー表示や利用者が必要とする情報を選択できるセグメント配信を実施するほか、道路や公園の不具合等の通報や施設予約などをLINE上で受け付けることで、利便性を向上し、情報発信力の強化を図った。

<計画期間> 令和7年度(1年間)

<令和7年度の事業実績>

事業費(交付額)	2,944,000(1,472,000)
市公式LINEアカウントの機能拡充事業	

<数値目標及び実績>

	事業開始前		R7	R8	R9	KPI 増加分の累計
市公式LINEアカウント友だち登録者数	12,453	目標	17,000	19,000	21,000	4,000
		実績	30,746			
通報機能の受信件数	0	目標	900	1,680	2,400	1,500
		実績	68			
予約機能の受付件数	0	目標	150	444	600	450
		実績	373			
市公式LINEアカウント友だち登録者の満足度	0	目標	60	65	70	10
		実績	62			

<事業全体の評価>

市公式LINEアカウントの機能拡充により、ゴミ情報や防災情報、イベント情報など、市民生活に関わる情報をより効果的に発信できる環境を整備することができた。

また、イベント予約機能の活用や、登録者プレゼントキャンペーン、市内事業者と連携したクーポン配信、イベントでのPR活動などを実施したことで、友だち登録者数の増加や利用者満足度の向上につながった。

一方で、通報機能については、従来の通報方法からの切り替えに関する周知が十分に浸透しておらず、利用件数が目標に達しないなどの課題も見られた。

しかしながら、全体としては市民が行政情報を受け取りやすい環境の整備や、市民サービスの利便性向上につながっており、事業の目的達成に一定の成果があったものと評価している。

今後も関係部署や委託事業者と連携しながら、利用状況や利用者の意見を参考に、市公式LINEの利便性向上と利用促進に取り組んでいく。